



代表取締役社長

梶川 勇次

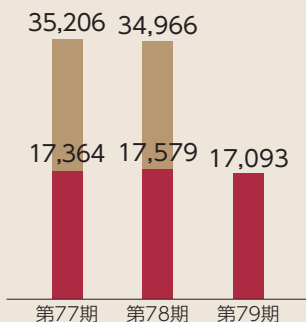
■ 経営環境

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が緩やかな回復基調で推移いたしましたが、世界経済におきましては、米中貿易摩擦の長期化や欧州経済圏の不確実性などにより、先行き不透明な状況が続いております。食品小売業界におきましては、消費増税を背景とした消費者心理の冷え込みが懸念される中、ドラッグストアおよびディスカウントストアやネット通販などの業種や、業態の垣根を越えた企業間の争いが激化しております。さらに、人件費や物流コストの上昇もあり、今後とも厳しい経営環境が継続していくものと思われまます。

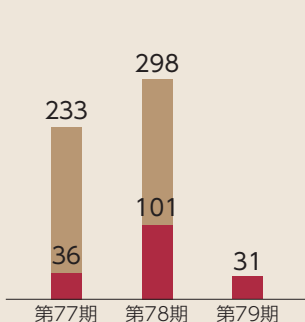
■ 連結決算ハイライト

■ 通期 ■ 中間期

営業収益 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



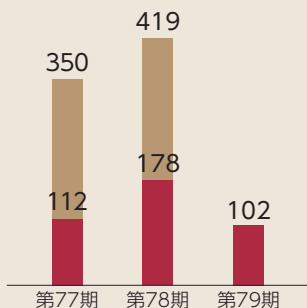
■ 営業概況と業績

このような経営環境のもと、当社グループといたしましては、地域に密着した企業として、他社と差別化できる企画や販売促進を強化することにより、お客様が満足できる店作りに努力してまいりました。それと同時にセミセルフレジの導入や「岡崎食品加工センター」および「ドミーデリカ惣菜センター」の機能強化により、店舗作業の効率化や人手不足に対応してまいりました。その他にも経費のさらなる見直しにより、収益性の改善に努めてまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の営業収益は170億93百万円(前年同期比2.8%減)、営業利益は31百万円(前年同期比69.1%減)、経常利益は1億2百万円(前年同期比42.7%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は65百万円(前年同期比59.8%減)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

経常利益(単位:百万円)



親会社株主に帰属する
中間(当期)純利益
(単位:百万円)

